

【全年次】

“単位さえもらえればよい” その考えは正しいのでしょうか？

来週火曜日から「前期中間試験」 少しでも勉強時間を確保しよう！

いよいよ来週は前期中間試験です。当たり前のことですが、しっかりと勉強をしてから「試験」を受ける必要があります。ノートなどの資料の持ち込みが許可されている場合には、それらの準備も含まれます。

皆さんは“当たり前のこと”に取り組んでいますか？

(1) “良い成績をとる必要はない” という誤った考え

生徒の皆さんからは、「“2”を取ればいいんだよね？」という話をよく聞きます。でも、それは本当に正しい考えなのでしょうか？ 今一度考えてみましょう。

(2) 成績が悪いと様々なことで不利に・・・

①奨学金

奨学金には原則として返還する必要のない「給付型」と返還が必要な「貸与型」があります。いずれにしても、希望者が多く、誰でも受けられるわけではありません。

奨学金の支給は、主に次に挙げる項目が判断基準となります。

「出席または欠席日数」（学校行事等も含む）、「学校内外での授業以外の活動」（部活動・ボランティア活動・家庭での役割等）、「学校からの推薦内容」（学校での皆さんの様子をもとに作成）、そして「成績」です。

「推薦文」などと異なり、「成績」や「出席または欠席日数」は数値で現れるものなので、他者と比較しやすいという特徴があります。

②進学

大学や専門学校、産業技術短期大学校等に進学する場合には進学用の「調査書」の提出を求められます。

次の表は進学用の調査書に記載される「評定平均値」「学習成績概評」の説明です。

例えば、全体の評定平均値が4.3～5.0という優れた成績の生徒は概評が「A」と記載されます。

進学を希望するほとんどの生徒は「推薦制度」を活用しており、特に四年制大学の場合には「一般入試」を利用する生徒は近年では1人もいません。また、多くの大学・専門学校が独自の「推薦基準」を設けています。ある大学の「推薦基準」を示します。

以下の条件をすべて満たした生徒を受験対象者とする。

- 高等学校または中等教育学校を令和2年3月卒業見込みの者
- 高等学校または中等教育学校（後期課程）の全体の評定平均値が3.5（Bランク）以上の者
- 高等学校または中等教育学校（後期課程）の欠席日数が10日以内の者
- 学校長が推薦した者

③就職

就職は、ハローワークの発行した求人票をもとに就職活動を行います。応募時には履歴書ほかにも就職用の調査書を提出しなければなりません。調査書には皆さんの普段の様子を書いた内容だけではなく、各科目の成績や欠席日数も記載されています。

特に就職希望者の多い企業等では、面接や筆記試験で良い成果を上げても、学校の成績が原因となり、内定をいただけないケースもあります。

来週からの試験は、成績を大きく上げるチャンスです。しっかりと準備して臨みましょう。